

知的資産活動を支える人材とその育成強化

本記事では、NECグループにおける知的資産活動について、活動を支える人材とそれぞれの役割、またその育成強化のための具体的な取り組みを説明します。

知的資産活動を支える人材と役割、育成強化

NECは、経営戦略を支えるために、事業戦略、研究開発戦略と一体となった知的資産戦略を推進しています。このために、あらゆる階層において知的資産にかかわる取り組みを強化すると共に、その人材育成に力を注いでいます。ここでは知的資産活動にかかわる代表的な人材(図)それぞれの役割とその育成強化のための具体的な取り組みについて説明します。

(1) 経営トップ

NECの更なる発展と成長のためには、経営資源の1つとして知的資産をより積極的に活用することが重要です。この考えの下、経営や事業部門のトップは、知的資産の重要性に関するメッセージを常に社員に対して発信しています。グループの知的資産活動のとりまとめを行う知的資産統括本部では、トップに対して、経営に役立つ最新の知的資産情報を提供すると共に、知的資産の視点から様々な提言を行っています。

(2) マネジメント層

事業戦略を策定・遂行する中で、その事業における自社と他社の知的資産を俯瞰し、自社の知的資産ポートフォリオを踏まえた上で、知的資産面のリスク最小とチャンス最大を図ることが、マネジメント層に求められています。知的資産統括本部は、マネジメント層のこのような活動を促進するために、知的資産の視点からの提言やコンサルティング、並びに、特許マップ作成支援や各種ツールの整備などを行っています。また、有識者のセミナーや社内Webサイトなどを通じて、知的資産マネジメントに関する最新情報を提供しています。

(3) 研究者、技術者

知的資産を創出する人材である研究者、技術者に対しては、開発の現場に知的資産統括本部員(特許技術者)が入り込み、研究者/技術者と一体となって、より良い知的資産の創出に全力を挙げています。また、研究者/技術者の知的資産力を向上させるために、弁理士の指導のもと、自身の発明案件を特許出願まで短期集中で実践するワークショップ型教育(発明説明書ワークショップ)や、知的資産の新しい動向を反映させた、ケーススタディ中心のeラーニングなど、

専門的な教育プログラムを展開しています。

(4) 特許技術者

特許技術者は、ひとつひとつの発明を確実に特許化することに加え、事業や研究開発動向を理解した上で、当社の知的資産ポートフォリオを強化する役割を担っています。NECの特許技術者は、知的資産統括本部が策定した人材育成方針に沿って、まずは知的資産における専門性の向上、次いで知的資産マネジメントのための戦略性の向上を行います。人材育成プログラムとしては、OJD、特許技術に関する実践的ワークショップ、海外特許事務所での研修などがあり、実践を通してのスキルアップが図られます。

(5) 社外代理人

NECでは、複数の特許事務所(社外代理人)に特許出願業務を依頼していますが、単なる出願代理人ではなく、知的資産創造のパートナーと捉えています。NECとパートナーが協働で、NECの知的資産ポートフォリオの強化を進めるためには、密接な人的交流や情報共有が不可欠と考えており、特許出願方針の説明会、技術討議の会、などを定期的で開催すると共に、代理人限定のWebサイトを通じて双方向の情報発信を行っています。

以上のようにNECでは、知的資産活動の担い手それぞれが、NECの知的資産力向上のための役割を果たすべく、積極的な活動を進めると共に、そのためのスキルアップを継続的に進めています。

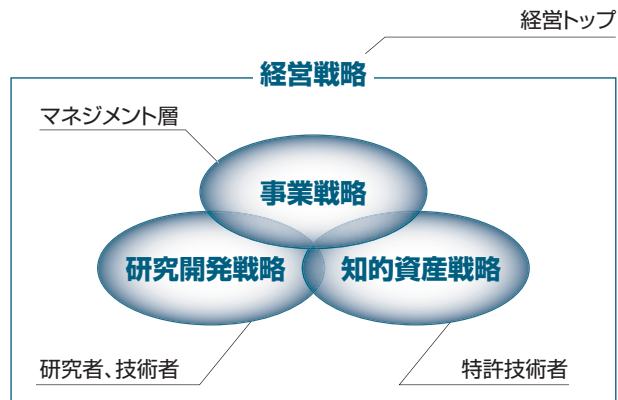


図 三位一体の知的資産活動とそれを支える人材